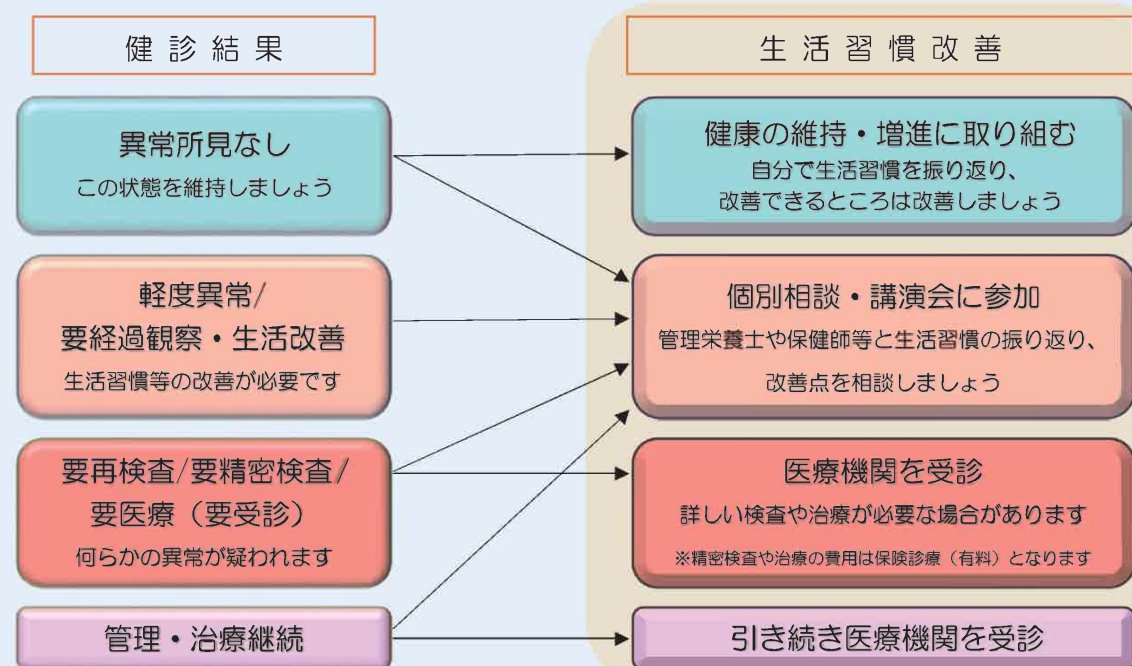


30歳代で1回限り無料の健診のチャンスです。 ぜひ、この機会に健診を受けましょう！

●健診結果が来たらどうすればいいの？



▷ 健診の結果について、管轄の保健相談所より連絡が入ることがあります。
また、関連する区の事業をご案内することがあります。



●「個別相談」や「講演会」でさらに自分のカラダについて学びませんか？

個別相談：健診結果をもとに、管理栄養士や保健師等と自分の食生活や運動習慣などについて振り返り、改善するためのポイントを相談することができます。

講演会：各テーマに沿って医師や運動指導員、管理栄養士等が講演を行います。
過去に開催したテーマ
「健康診断の活用方法」・「脂質異常症予防」・「貧血予防」・「糖尿病予防」
「がんの予防と治療」など

* 個別相談・講演会の開催日時、会場等の詳細はホームページをご覧ください

食事診断も
できます！



<問合せ先> 平日 8:30~17:00（年末年始を除く）

*管轄の保健相談所へ

城東保健相談所	TEL 03-3637-6521	FAX 03-3637-6651
深川保健相談所	TEL 03-3641-1181	FAX 03-3641-5557
深川南部保健相談所	TEL 03-5632-2291	FAX 03-5632-2295
城東南部保健相談所	TEL 03-5606-5001	FAX 03-5606-5006

管轄一覧はこちら



保存用

令和7年度版

知って役立つ

江東区35歳健診（無料）のポイント！！

●健診で何がわかるの？

▶肥満・やせがわかる

身長・体重・腹囲・BMI

肥満・やせは将来の病気のリスクを高める。

▶貧血・血液の異常がわかる

赤血球数・白血球数・血色素量
血小板数・ヘマトクリット値

血液の成分からあなたの健康状態を解析。

▶肝機能の異常がわかる

AST (GOT)・ALT (GPT)
γ-GTP (γ-GT)

肝臓は「沈黙の臓器」、気づいた時にはかなり進行している恐れあり。

▶高血圧がわかる

血圧測定

高い状態が続くと血管の内側にダメージ⑤

▶糖尿病がわかる

血糖・HbA1c・尿糖

血糖値が高い状態を放置すると血管や神経にダメージ⑥

▶脂質異常症がわかる

中性脂肪・コレステロール (LDL・HDL)

中性脂肪 ⑦

LDL コレステロール ⑧

HDL コレステロール ⑨

⇒ 要注意！！

▶診察で医師と直接相談できる

健康状態について疑問に思っていることを話せるチャンス。



▶腎機能の異常がわかる

血清クレアチニン・eGFR
尿蛋白・尿潜血

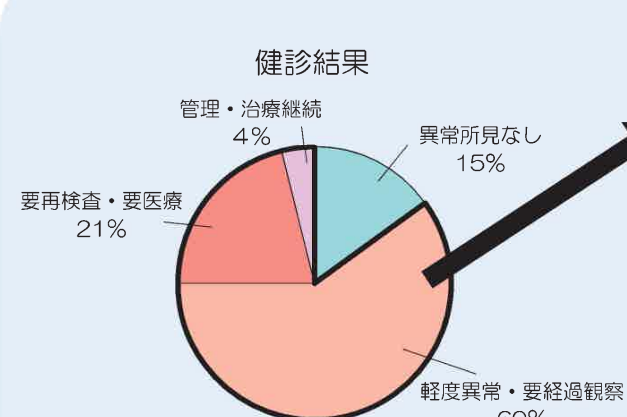
老廃物が蓄積すると、慢性腎臓病や腎不全に。
糖尿病や高血圧の人は要注意！

3つの状態を放置すると血管がボロボロになる
「動脈硬化」が進行

さらに放置すると…
突然やってくる
「脳卒中」
「心筋梗塞」
の可能性！



●35歳での健診がなぜ必要なの？



令和6年6月～12月の江東区35歳健診の結果をみると…

約85%の方が健診結果で「所見あり」。
「所見あり」の中で、多かった総合判定は、
軽度異常・要経過観察

自覚症状がなくても、健診を受けることで自分のカラダの状態がわかります。
⇒カラダのSOSをいち早くキャッチできます。
もし所見がある場合も早期発見し、生活習慣を改善することで健康寿命は延ばせます。

現在の生活習慣をセルフチェックしてみましょう！

◆定期的な健康診断について

- ☐ 「江東区35歳健診」以外に健診を受ける機会がない

◆適正体重の維持について

- ☐ 20歳の時の体重から5kg以上増加している または 体重の増加が気になる
・20歳から体重が5kg以上増えると、糖尿病のリスク、10kg以上増えると、狭心症・心筋梗塞のリスクが高い！
- ☐ BMIが25以上 または 18.5未満である
・BMI（体格指数）は体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で肥満度を判定できる。25以上は「肥満」、18.5未満は「やせ」とされ、どちらも将来の病気のリスクが高い！

◆運動習慣について

- ☐ 定期的に運動を行っていない
・身体活動・運動の量が多いほど、生活習慣病の発症のリスクが低い。1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上持続することが望ましいとされている。
- ☐ 1日の歩数が8000～10000歩に達していない
・歩くことを中心とした身体活動を増加させることにより、生活習慣病の発症を予防できる。



◆食事について

- ☐ 毎日、朝昼夕の食事を3食食べていない
・1日3食食べることで、「生活リズムが整う」「1日に必要なエネルギーや栄養が摂れる」など生活習慣病のリスクが減少！
- ☐ 人と比較して食べる速度が速い
・食べる速さと肥満度は関連あり。食べる速度が速い人は遅い人より将来の糖尿病になるリスクと肥満のリスクが高くなってしまう。
- ☐ 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある
・就寝前2時間以内に夕食をとることが週2回以下になるようにした人の多くは、1年後の健診で腹囲の減少とHDLコレステロールの増加がみられた。
- ☐ 朝昼夕の3食以外に間食や甘いもの（飲み物を含む）を摂取することが多い
・間食や甘いものの摂取が多いと、必要な栄養の不足、脂肪分過多による体重増加につながる。
- ☐ 朝食を抜くことが週に3回以上ある
・毎日朝食を食べる人と比べて、食べない人は糖尿病・脳出血のリスクが高い。



◆休養について

- ☐ 睡眠で休養が十分とれていない
・6～8時間の睡眠が理想的。5時間未満の短時間睡眠は高血圧・糖尿病が発症するリスクを高める。こころの病気が隠れている可能性もあり。
- ☐ リフレッシュする機会がない
・ストレスが多くなった時にリラックスしたり、趣味やスポーツをしたりしてリフレッシュすることも「休養」となる。うまく休養がとれないとカラダだけでなく、こころの不調にもつながってしまう。

こころの健康についてさらにチェックしたい場合は・・・

東京都保健医療局
東京都こころのちのほっとナビ
「ここナビ」



厚生労働省
働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト
「こころの耳」



◆お酒・たばこについて

- ☐ ほぼ毎日お酒を飲む
- ☐ 1日あたりの飲酒量が純アルコール量20gを超えている
- ☐ たばこ（加熱式たばこや電子タバコを含む）を習慣的に吸っている
・喫煙は動脈硬化・虚血性心疾患・糖尿病のリスクを高める。



ご自身が飲んだ純アルコール量を
知りたい方はこちら



お酒について
悩んでいる方はこちら

◆歯と口について

- ☐ 歯ぐきに赤く腫れた部分がある
- ☐ 歯と歯の間にものがつまりやすい
- ☐ 歯をみがいたあと歯ぐきから出血することがある
- ☐ 口臭が気になる
- ☐ 時々、歯が浮いたような感じがする
- ☐ たばこを吸っている
- ☐ 糖尿病にかかっている
- ・該当箇所が多い方ほど歯周病のリスクが高い。歯周病は糖尿病や心疾患、肺炎にも関与している。
・かかりつけ歯科医を持ち、定期的にお口の健康を管理しましょう。

1つでもチェックがついたら、
まずは検診を！

おとなの歯科検診 **無料**（5年に1度）：35歳になる年度の6月に受診券送付

問合せ：健康推進課健康づくり係 TEL 03-3647-9487
FAX 03-3615-7171

セルフチェックで1つでも当てはまる項目があったら…健診へ行こう！

今日から / ちょこっと改善 生活習慣！！

これからも健康でいるために今の生活習慣を見直してちょこっと改善しませんか？

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 毎日体重を測る | ☐ 24時に寝る | ☐ 10分早足で歩く |
| ☐ できるだけ階段を使う | ☐ 早食いしない | ☐ 朝食を食べる |
| ☐ 間食を控える | ☐ 夜10時以降は食べない | ☐ 腹八分目に食べる |
| ☐ 砂糖入りの飲み物を控える | ☐ お酒を控える | ☐ タバコを控える |
| ☐ デンタルフロスを使う | | |

30代からの生活習慣病予防のポイントはこちらへ



女性の方へ

子宮頸がん検診を受けていますか？

対象：年度内に偶数年齢となる女性対象

※ただし、今年度が奇数年齢であっても前年度未受診であれば子宮頸がん検診を受けることができます。受診券が必要なため、下記までお問合せください。

問合せ先：江東区保健所健康推進課健康づくり係 TEL03-3647-9487 FAX03-3615-7171

受診場所：江東区内のがん検診指定医療機関（35歳健診では受診できません）

乳がんを早期発見するための「ブレストアウェアネス」を知っていますか？

日頃から乳房をチェックして、自分の乳房の状態や月経周期による変化を知っておき、気になる変化に気づいたときには、乳腺外来のある医療機関を受診しましょう。

自覚症状がなくても、40歳から2年に1回、定期的に検診へ。